

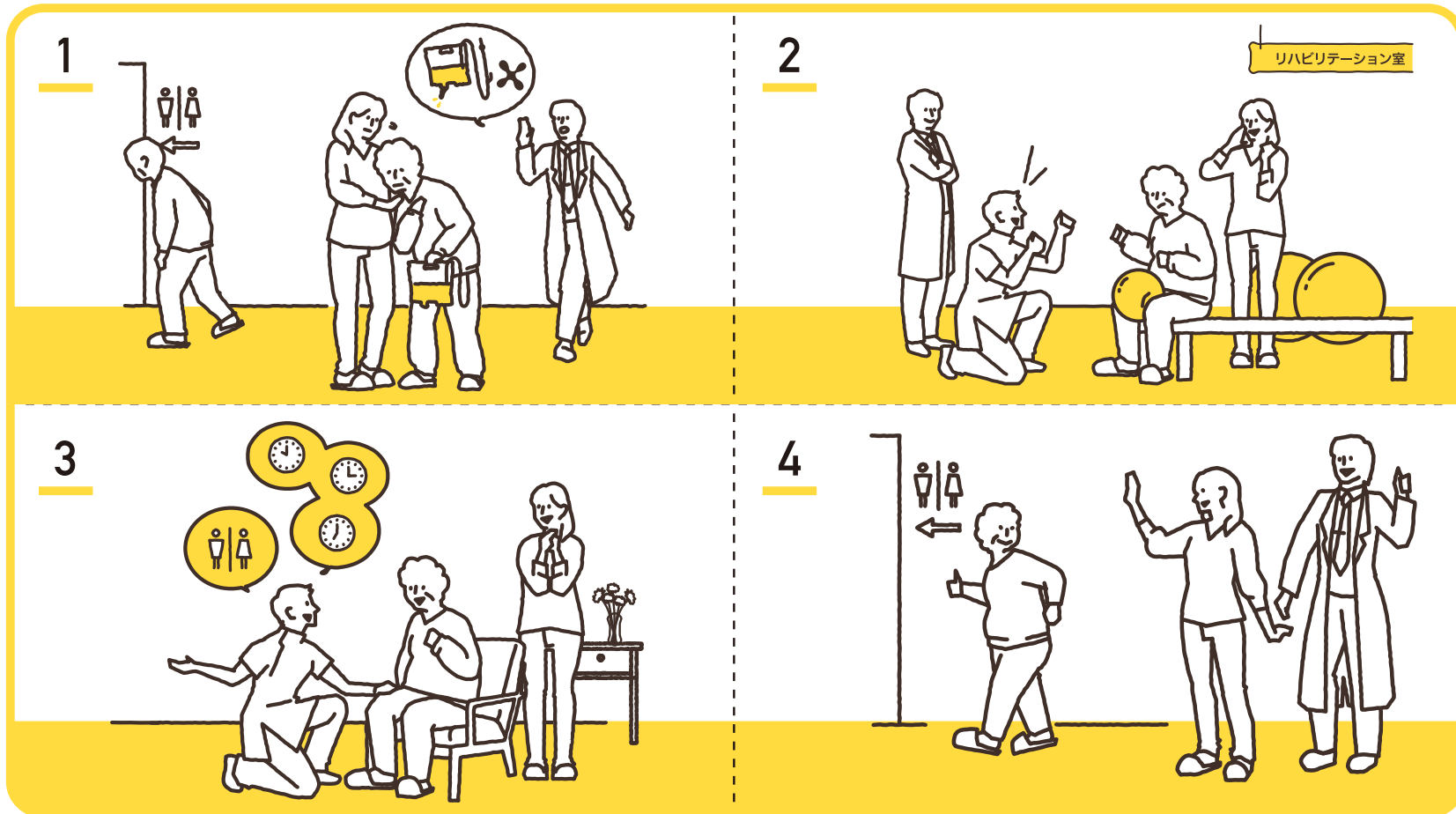


トイレでの
自力排泄のために
腹筋や骨盤底筋群を鍛えるなど、
排泄に関連する筋力を
つけるリハビリテーション
にも力を入れています。

博愛記念病院 月刊広報誌

2025.3
FREE PAPER

自分の意思でトイレに行き、排泄することを目指します



自

らの意思でトイレに行き、排泄することができないと、患者さんのQOLは大きく損なわれます。排泄機能の回復とトイレ動作の獲得は、在宅復帰を目指すリハビリテーションの最重要課題の一つだと私たちは考え、入院後早期から取り組むことを徹底してきました。

この排泄に関するリハビリテーションは、病院では重視されず、十分には行われていません。それどころか、医療者や介護者の都合で、尿道カテーテルが不必要に長期留置されていたり、テープ式のオムツが使用されていたりするのです。このことは患者さんのQOLを損なうだけでなく、在宅復帰の大きな障害となってしまいます。

尿道カテーテルが本当に必要な入院患者さんはそれほど多くはないため、私たちはこれをなくすよう取り組むとともに、排泄リハビリテーションを積極的に行っています。退院後のQOLも見据え、患者さんのご自宅のトイレ環境に対応した訓練も徹底して行っています。

排泄時の体内臓器の動きは他者が把握しづらいことから、排泄リハビリテーションの難易度は高く、さらに、薬物療法、排尿・排便パターンの把握、間欠的な導尿やトイレ誘導など、多職種で協力しなければ成果を上げづらいものです。私たちはチーム医療によって、こうした難しい排泄リハビリテーションを成功させるための努力を続けていきます。

Staff Comment



泌尿器科 医師
上間 健造
Uema Kenzou

排尿ケアチームでは、看護師やリハビリスタッフと協力し、QOL(生活の質)の向上を目指して排泄機能の回復に取り組んでいます。定期的なカンファレンスを通じて、多職種が専門性を活かし、最適な治療法やケアを模索し、課題解決に努めています。患者さん一人ひとりの状態に応じた治療を行い、尿道カテーテルの早期抜去やトイレ動作の獲得を支援し、患者さんが自ら排泄できる生活を取り戻せるようサポートしています。





HAKUAI PHOTO SNAP



新人看護師が行った1年間の成果発表。先輩の言葉に感動！



「栄養」をテーマに、管理栄養士が出張講座を行いました。



2月の玄関ホールは「節分」をイメージした飾りつけ。



集団リハではアロマの香りで、心身の正常化をサポート！



節分の日のお食事は恵方巻。西南西に向かってガブリ！

information:

院内にフリーWi-Fiを導入しました！

この度、入院患者さんやご家族からのご要望を受けて、入院患者さん向けに無料のWi-Fi接続サービスを開始しました。ご利用を希望される方は、当院スタッフまでお気軽にご相談ください。



入院の受け入れやそのほか、なんでもご相談ください！

医療法人 平成博愛会
博愛記念病院
HAKUAI MEMORIAL HOSPITAL

☎ 088-669-2166

〒770-8023 徳島県徳島市勝占町惣田9
☎ 088-669-3362 ✉ info@hakuaihp.jp

当院について
詳しくはこちら！



博愛記念病院